

マレーシアに行ってきた ・・・その3



いもねえさん

とってもフレンドリー

なんだかみんなとってもニコニコしてるんだよねー。

言葉が通じなくてもあんまり関係ないみたい。

単語を並べても必死に理解してくれようとする感じ。

日本と同じ、車が左を走るというのもすんなり入っていきける。

横断歩道というものがなかなか見当たらず、上手に車の間を横断するしかない。

それでクラクションを鳴らされるわけでもない。

スーパーで女の子に、キャンディー？と聞いたらyes,であっちはチューインガムと教えてくれた。

ニコニコしてかわいい。

ただこちらもニコニコしてないとダメだけどね。

無表情ではダメ。

それからマレーシアでは左手は使わない方がいいみたい。

例えば左手でものを指すとか。難しいね～

タクシーをチャーター

朝はたっぷりの食事をゆっくり食べ、タクシーをチャーターする。
ゆっくり見ると3時間はかかると聞いていた。

ドライバーは大きな声で必ず聞く。どっから来た？from Japan.

マレーの人は、普段はマレー語のようだが英語も普通に話すそう。スゴイ！2か国語を話すのか。

彼らの言葉は何語なのかよくわからない。

中国語の人もいるし。でも英語は話すんだー。

私も時々話しに入るが、よくわからないままに読み取ってくれる。

聞きたいことがあるんだけど、言葉にならないもどかしさ！

バタフライガーデンには行かないのだけれど、見える所に止まって丘の上から見せてくれた。

こういうのがチャーターのいいところなんだね。

クレソンの段々畑の上を蝶々が舞っていたけれど、卵を産んでサナギが葉を食べないのかしら。

。。

これはさすがに英語には変換できなかった。

私のことをマダム、と言ってるだろ、無視するなよという息子。えっ、私マダムなの？

あらsorry.

結局5時間のチャーターとなったけれど、楽しかったー。



Cactus

Vally はタカシさんオススメの観光園だった。

多肉植物がいっぱい。

ワ～、もう足がどんどん進む。いつスコールがきてもいいように、退避場所も大きい。

多肉もいっぱい。

他の植物、八丈島で見慣れたものばかりだけれど、スケールというか密集具合というか、咲き方
というか、

やっぱり違うんだよねー。

ポツンポツンと咲いてるの我が家のと、ダ～っとあふれるように咲いてるのとの違いかなあ。

えー、この花こんなに密集して咲くんだ。

こういうふうには屋根から垂らすのね。

気候が1年を通して一定しているからこうなんだね。なるほど。

だいたい手が入っていてキレイに整備されてるし、花ガラなんかもとってあるから見ごたえが
ある。

階段を上ったり降りたり。

息子はここでは私の後についていた。

家の庭にあるじゃない、これ。知らん。

家にいる時はまったく興味を示さなかったのに、私と同じくらいたくさん写真とってたなあ。



トマトをこうやって作っていた。へ～



後でどっと疲れたー。

息子はよく退屈しないで付き合ってくれた。私は最高！

いちご農園やめてここにしてお良かったー。

やっぱりガイドブックより現地の人に聞くのがgoodだ。

幻の紅茶、ポー・ティー園へ

キャメロンハイランドへ行く途中の高原の斜面に、お茶畑が延々と広がっていた。
新幹線で静岡を通る時のあれに似た風景だ。



いやーすごいわ。タクシーでは、丘の上に止まって、新芽やらお茶の花、実もとって見せてくれた。

大きくなりすぎて高い木になってしまったものも。放っておくとあんな大きな木になるんだー。気が遠くなるような茶畑、又茶畑。

1年を通しての温暖な気候と雨量の多さで2週間に一度の茶摘だそうだ。

もうハチャメチャ英語でどんどん質問。手で摘むってどういうの？スティック。私はスティック、バイ、ハンド？

何でも語尾を上げときゃ何とかなるんだよ。

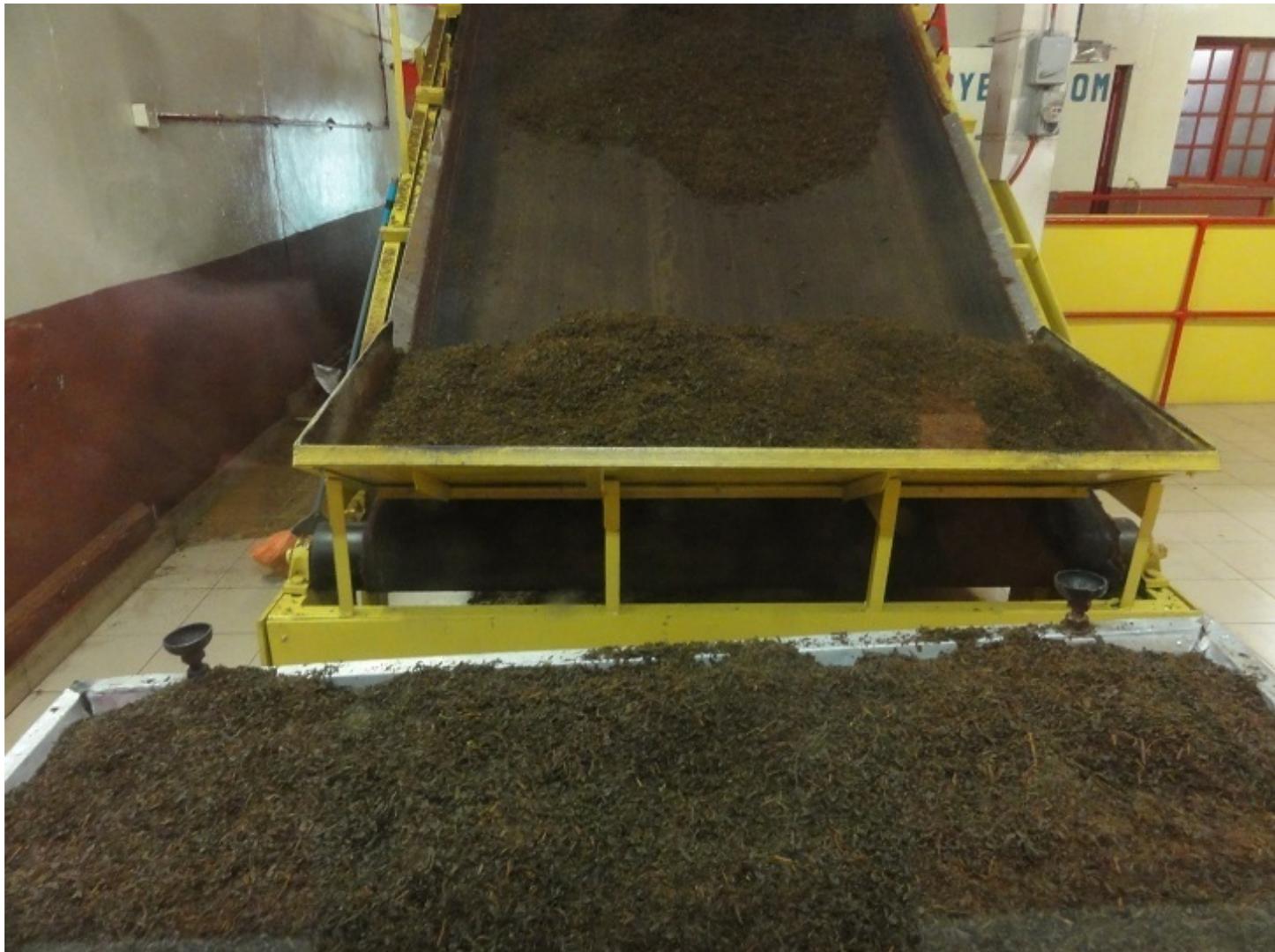
ハサミで刈る方法、機械で刈る方法、150人ぐらいの従業員。

1年中の収穫、生産量は国内の7割と。イギリス人が開発し今や「幻の紅茶」として有名だそうだ。

マレーシアに着いて最初に飲んだのもホワイティーだったし、ホテルにあった紅茶もポーティ

ーでおいしかった。

工場の見学もできたし、私が刈り取りの方法を聞いたせいか、タクシーのドライバーが刈り取りのハサミなんかの所で待っていて説明してくれた。





そこではケーキと紅茶が飲めたので休憩。おいしかったなあ。



販売コーナー、もう安すぎ！

あれは従業員の宿舎ですか？yes,stay hear
トタン屋根の住居が並んでいた。。。



スコールの時の雨音すごいだろうなー、あのトタン屋根では。。。

あ〜、買ってきたポー・ティーもうなくなりそう。。。

ちょっとした市場

紅茶園の帰り、タクシーのチャーター時間も大幅にオーバーしてるし、タカシさんが教えてくれた沿道沿いの市場に寄ってもらった。

現地の人が多かった。中国系の人的大量に買って車に積んでいた。

あんまり変わった野菜は見当たらなかった。

むしろ、新鮮な野菜が妙に新鮮に見えない。

きゅうりなど、大きくしすぎて固そう、表面もしなびた感じ。

あんなしなびたキャベツ。

サツマイモ、なんであんなに貧弱なの？それに、きっと石ころだらけの所で作ったんだね。デコボコすぎだ。

ナスも数が少なくシナシナ、、、

そして小さな青リンゴ、ホテルで食べてギャジギャジだったアレだ。

いちごもパックされてるけれど、おいしそうでない、あれはギャジギャジだ。トマトも同じ。

とうもろこしは立派だったけど。





私の見る眼がきびしいのか。

どうしてもっとおいしくできないのかなあ。

私が自分で野菜を作ってるから特にそう思う。若い人手いっぱいあるのに。。。。

作り方、知らないのかなあ。気候条件はいいはず、雨も降るし。おいしいの作ろうよ！

素材がよくない！

そう思った。

ドライフルーツや花を売っている店もあった。

ドライフルーツをたくさん買った。ゴーヤやピーマン、プチトマト、柿も甘いドライフルーツになっていた。

あれだけのきれいなバラの花。ブルーもあった。

バラの花も欲しかったけれど、買ってもしようがないし、、、

いっそのことポプリにしてしまえば、商品になるのに。



そしてこの値段たるやいったいどうなってるのか。

チョコが1箱6リングット、2箱買おうとすると、3箱で10リングットというではないか。OK！
ドライフルーツも同じような感じだった。

マレーシアは多民族国家で、人種間の差別なく貧困の撲滅を達成するというのが一番の柱だと

。

まず飢えをなくし、おいしいもの、身体によいもの、環境によいもの、と続いていくのかなあ。

。。

「輸入してまで食べ残す、おかしい国、ニッポン。」どこかで聞いた言葉だ。

結局、3時間の予定が5時間のタクシーのチャーターになって、マレーシアでの最高額150リングット、（4000円弱ぐらいかな）を使った。マイペースで動きすぎかな。息子は文句一つ言うでなし、何にでも興味をもつ。

夜、息子はパソコンを持って、、、

息子の3点セット。

薄〜いノートパソコン、アイホン、ケータイ。

アイホンはゲームが入っていて、ボタンを打ち落とすというもので、老眼鏡をかけてやってみた。

やり方を理解するのに3分、飽きるのに5分、で終了。

夜、パソコンを持って部屋から出て行く。

私は部屋で本を読んだりしてゆっくり過ごす。

夜中に戻ってきたことがあった。

こんな時間に誰かいたの？

けっこういるよ、時差があるから、今じゃないと連絡とれないんじゃない？

同じパソコンもってる人いた、亡くなったジョブズ氏の。世界的だよやっぱり。

毎晩パソコンやってくるといって下にいていた。

部屋ではつながらなかつたらしい。

部屋には大きなテレビがあるものの、そして操作によりNHKが時々英語になるものが見れるということだったが、

私も息子も普段テレビのない生活なので一度もテレビをつけなかった。

クアラルンプールのホテルにいたっては、壁にやたら大きなテレビが埋め込まれていたけれど、結局一度もつけなかった。今となっては一度ぐらいどんなものかつけてみてもよかったのかも。

でもそれは、お酒を飲まないのに酒屋をのぞくことはないというのと同じなんだよね。

夜明けが遅いよ

またまた息子が先に起きてシャワーを浴びている。

なんでー？

まだ外薄暗いよ。夜明けの遅い国だなあ。。

私は不眠で医師から睡眠剤を処方してもらっている。

今回も10日分持ってきた。なのに一度も使わずして眠っている。

夜中に起きることもない。

日本では薬を欠かさなかった。飲んでも眠れないこともあるというのに。

枕がかわると眠れないということもあるけれど、こんなにぐっすり眠れる、、気分イイ。

不整脈はあいかわらずだけれど、きっと体調もいいんだ。

入ったとたん、アレ、このマーク、八丈島のマークとそっくりだ～



気候が似てるとこんなもんかなあ。。。

わ～、キレイ。

広々。お花がいっぱい。よく整備されてるねワ。お花があるっていいね。

広いね、どっから回ろうか。



八丈島と気候が似ているとはいえ、四季がなく1年中こんな温暖なのだからお花がいっぱいだ。島では春に終わってしまった花もみごとに咲いている。まるで春だ、そして夏だ。混ぜこぜだ。季節感がない、けどきれいねーよく整備されてるわ。



ハーブ園も、伸びすぎては新しいのを植えるんだらうな。
シャボチカバ、こんなにいっぱいついてる。そしていっぱい落ちてる。



野菜の研究してるんだらうな。ハウスがいっぱいある。
でも何かショボイ。なすの葉があまりにも少ない。
いちごやトマト、できてるけどおいしそうじゃない。加工用なんだらう、工場があった。
何で葉があんなにショボいんだらう、葉の色が悪いんだらう。
いちごの受粉ができてないからいちごの形がボコボコ。

日本の技術ってすごいなとあらためて思う。
もっとおいしい野菜、いっぱいできると思うんだけど。。。
日本の野菜、本当においしい。私が作る野菜もおいしいよ。

夜息子と農業について話す。
何か私ら真面目だよね。

M a r d i の昼休み長すぎ

実は初日にも訪れた。

午後5時までと書いてあったから4時についたのだけれど、門のところでclosedと言われてしまった。

tmorrow open? yes! What time? Morning! thank you!

これが私と、入り口にいた人との会話だ。

中学1年の英語だな。十分だ。だんだんいい感じになってきた。

きっと息子はそばであきれていたことだろう。

翌々日訪れた。

建物の中に入ると、食缶の中からレジ袋に直接ビーフンのような物を各自が入れていた。

きっと職員の昼食だろうね。

おや閉まっているビニールハウスがあちこちに。

昼食休憩時間 1 1 時30分～2時って札がかかっているよ。

長くない？のんびりしてるんだよ。

だいたい見たからいいよ、あそこにティーハウスがある、何か食べる？

と行ったものの、ハエがいっぱいまとってるし、お腹すいてないしホワイトティーだけ飲んだ。

Mardiのマーク、八丈島のマークに似てるワ。

親近感を感じたよ。

スチームボート最高！

事前に調べておいたスチームボート。
これを食べなきゃ。



日本人スタッフのタカシさんにスチームボートを食べたい旨を言ったら、ここがいいと地図で教えてくれた。

実はどんなものかはよく知らない。

まあ、鍋なんだけど、コレだけは食べたい、そして大いに満足したとネットにあった。

もはや何料理かわからないんだけど、中国料理のようだ。

だけどその店は、そんな感じでもなかったなあ。

歩道にも席はあったけれど店の中でも食べられるようだったので一番奥へ入った。

まず、例によって飲み物は？と。

中国茶にした。

スプーンとフォーク、それに箸が入った筒が来た。どの店にもナイフは出てこない。

迷わず箸をとる我々。

マレーシアはイスラム教が国教で豚肉は食べない、そういえばどこもチキンばかりだ。

イスラム教徒以外の人には他の肉も食べるらしいが見かけないね。

スープを聞かれた。カレー、チキン、トムヤムから2種類選ぶようだった。チキンとトムヤムにした。

鍋だー！真ん中が二つに分かれてトムヤムスープとチキンスープが入っていた。

麺はビーフンと蒸しそばがついていた。

いやー、おいしいわ。トムヤムっておいしいんだねー。チキンも。

食べきれるかと思ったけれど、結局完食し、夕ご飯となった。

これ、いいわ、日本に帰ったらやってみよう。

息子はこれまで食べた料理の中で一番美味しいと。彼は麺好きだ。パサパサのタイ米は苦手らしい。